

第 8 回 知 多 市 教 育 委 員 会 臨 時 会 会 議 録

平 成 2 7 年 7 月 1 7 日

知 多 市 教 育 委 員 会

第 8 回 知 多 市 教 育 委 員 会 臨 時 会 会 議 録

招 集 年 月 日	平成 2 7 年 7 月 1 7 日		
招 集 場 所	知多市役所 2 階教育委員会室		
開 会	午前 9 時 2 9 分		
閉 会	午前 1 0 時 3 2 分		
出 席 委 員	委員長	岩見田	健
	委員長職務代理者	平 松	鋼 一
		石 井	文 廣
		深 谷	尚 義
		竹 内	聰 一
	教育長	小 宮	克 裕
出席した職員	教育部長	松 井	禎 司
	生涯学習課長	柴 山	利 之
	生涯スポーツ課長	堀之内	康
	学校教育課長	勝 崎	当 仁
	指導主事	澤 田	広 彰
		阿 部	剛 士
	事務局学校教育課	森	真 哉
		木 村	圭 吾
傍 聴 者	なし		
議 題	議案第 2 5 号 平成 2 8 年度使用小・中学校教科用図書の採択について（協議）		

1 開 会 出席委員 6 人
第 8 回知多市教育委員会臨時会を開会する。

2 議 題

(1) 議案第 25 号 平成 28 年度使用小・中学校教科用図書の採択について（協議）

議題の宣告後、この審議は、非公開にすることを会議に諮り、委員全員の賛成を得たので、委員長が、議案第 25 号の審議は、非公開とすることを宣告した。

(説明) 澤田指導主事

平成 28 年度に使用する小学校教科用図書の採択は、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第 14 条に定めるところにより、平成 27 年度と同一の教科用図書を採択することとなっていますので、来年度も同一の教科用図書を承認するよう求めています。知多市教育委員会においても、平成 27 年度と同一の教科用図書を採択することを承認されるようお願いします。

次に、平成 28 年度に使用する中学校教科用図書の採択については、知多教科用図書採択地区協議会から別紙のとおり採択案がありました。

提案理由については、地方教育行政の組織および運営に関する法律第 21 条第 6 号の規定に基づき、中学校で使用する教科用図書の採択を求めるものです。

教科用図書の選定理由書が、知多教科用図書採択地区協議会から届いていますので、報告します。

国語は、光村図書出版です。教材の最初に目標を、後ろに学習の窓、学習を振り返るを続けるなど、学びの具体的な手立てが示されていることなどが選定の理由になりました。

書写は、教育出版です。筆使いが分かりやすいように手本を二色の薄墨で示すことや、分かりにくいところを拡大図で示していることなどが選定の理由になりました。

社会の地理的分野は、日本文教出版です。地域からのメッセージを設け、世界や日本の今日的課題を考え、興味や関心を高めるように工夫されていることなどが選定の理由になりました。

社会の歴史的分野は、日本文教出版です。東アジアを中心に世界とのつながりで日本史をとらえ、広い視野で多面的、多角的に歴史をとらえていることなどが選定の理由になりました。

社会の公民的分野は、日本文教出版です。社会参画や社会貢献など、将来の生き方につながる内容を取り上げ、興味や関心を高めるようにしていることなどが選定の理由になりました。

社会の地図は、帝国書院です。基本図、拡大図、資料図、鳥瞰図、イラスト、写真、統計資料などが精選されていて、多面的に地域の特色が把握できるように工夫されていることなどが選定の理由になりました。

数学は、新興出版社啓林館です。導入だけでなく、随所に数学的な活動を取り入れ、学習を深められるように工夫されていることなどが選定の理由になりました。

理科は、教育出版です。丁寧な記述をするとともに、図や写真を多く掲載することで、基礎や基本が確実に身に付くように配慮されていることなどが選定の理由になりました。

音楽の一般は、教育出版です。親しみやすい音楽を教材とし、基礎的、基本的な知識や技能を確実に習得し、心豊かな情操や創造性を調和的に養えるように精選されていることなどが選定の理由になりました。

音楽の器楽合奏は、教育出版です。小学校での既習曲や、ポップス曲など幅広い選曲となっていて、生徒の興味や関心が高まりやすく工夫されていることなどが選定の理由になりました。

美術は、日本文教出版です。生活の中にある美術に関する作品や事例を多く紹介し、生徒の制作意欲や興味、関心を高められるように工夫されていることなどが選定の理由になりました。

保健体育は、大日本図書です。主体的な課題解決学習が進められるように、今日の学習課題として示し、資料や図などを参考にして知識の定着を図る構成や配列になっていることなどが選定の理由になりました。

技術・家庭の技術分野は、東京書籍です。実践的、体験的な活動を通して、生徒が学習課題と生活を結びつけやすくなるように、内容が精選されていることなどが選定の理由になりました。

技術・家庭の家庭分野は、東京書籍です。生徒の発達段階に応じた内容で、興味や関心をもって取り組めるように様々な工夫や配慮がされていることなどが選定の理由となりました。

外国語は、東京書籍です。小中高の連携を意識し、既習事項を新たな学習内容と関連づけ、教材が系統的、発展的に配列されていることなどが選定の理由になりました。

なお、この採択案は、知多教科用図書採択地区協議会において協議され、承認されたものです。

また、知多全域から各教科の専門教員を研究員として置き、その調査と研究の報告も踏まえたものです。

各委員も、教育長室や6月12日に東海市教員研修センターでの教科書展示会などにおいて教科用図書を見ており、また、7月7日の研修会で教科書制度についての説明がありました。

知多採択地区での共同採択という趣旨を尊重して、審議し、承認をお願いします。

(質疑・意見)

岩見田委員長

議題については、小学校用と中学校用に分けて、審議をお願いします。まず、小学校教科用図書について審議をお願いします。

(採決) 全員賛成、原案承認

岩見田委員長

次に、中学校教科用図書について審議をお願いします。

各教科とも、特に気になった2、3社の教科書について、意見をお願いします。

最初に、国語及び書写の教科書について、お願いします。

石井委員

中学校用教科書としての国語は、学校図書、教育出版、三省堂、東京書籍、光村図書出版の5社があります。

この中から、①基礎的、基本的な内容が定着なされるような学習活動と思考力、判断力、表現力等が図られているか。②話すこと、聞くこと、書くこと、読むことが適切な分量で系統的に配列されているか。③漢字や語彙の学習に工夫がなされているか。以上3点と、豊かな教養を身につけ、たくましい生活力を持ち、郷土並びに国家の発展に尽くす人間愛

に満ちた民主的な日本人を育成するという、知多市の教育の目指す人間像とが合致すべく、あるいは近いであろう教科書はどれかということから慎重に検討した結果、東京書籍、光村図書出版の2社を選定しました。

この2社を検討したところ、広汎な分野から価値のある課題と題材がバランスよく取り上げられ、わが国の伝統や文化を尊重し、ものの見方や考え方が深められ、これからの時代を生き抜く人間を育てるようにと工夫された光村図書出版の国語教科書を第一順位とし、東京書籍の教科書を第二順位としました。

つぎに、書写は、学校図書、教育出版、三省堂、東京書籍、光村図書出版の5社があります。

この中から、①書写を行うときの基礎的な姿勢や技能についての配慮がなされているか。②内容が系統的に取り扱われ生徒の学習に適した書体や用筆などが使用されているか。③毛筆と硬筆との関連が工夫されているか。④わが国の伝統や文化、自然や四季に関する題材、道徳的心情を豊かにする題材などが取り上げられているか。以上の4点から慎重に検討した結果、教育出版、東京書籍の2社を選定しました。

この2社から、書写をさまざまな活動に生かせるよう多種の書式が紹介されており、字形の理解、毛筆における中心線や補助線が表示されているということから書きやすさが実感できそうであること、毛筆のみ、硬筆のみ、毛筆と硬筆が併置された効果的なページ配置、書写を通して主体的に学ぶ力が養われ、何よりも伝統や文化につながる資料が提示されていることから、教育出版の教科書を第一順位とし、東京書籍を第二順位としました。

岩見田委員長

社会の教科書について、お願いします。

小宮教育長

社会科ですが、地理は4社、歴史は7社、公民は7社、地図は2社の教科書がありますが、それぞれの出版社が、それぞれ特色を出した教科書になっており、とても感心しました。資料等も非常に豊富で、生徒と教師が、それを使って学ぶことが楽しくなるのではないかと教科書ばかりでした。

例えば、帝国書院の地理は、羅針盤のコラムで、共生、環境、防災からなる取り組みを紹介し、3分野の関連を考慮するなど、また、1時間の内容を見開き2ページで構成するなど使いやすさを感じました。また、日本文教出版の地理は、導入で小学校の学習を振り返るなど生徒の発達段階を考慮、また、今日的課題を考えさせ、興味や関心を高める地域からのメッセージはインパクトがありました。

歴史では、東京書籍は、政治、経済史だけでなく、生活、文化史をバランスよく取り上げてありました。帝国書院は、地理と同様に羅針盤のコラムが目をひきました。日本文教出版の脚注欄の連携コーナーで、地理分野と公民分野との関連を位置づけていることはとてもよいと感じました。

公民では、教育出版の言葉で伝え合おうでのテーマ学習は、言語活動の充実にもつながっていると思いました。自由社は、伝統文化の尊重と郷土愛を育てることを意識した構成だと感じました。日本文教出版は、見開き2ページごとに学習課題を提示し、チャレンジ公民の話し合い活動や作業学習を通して実生活と関わらせていることはよいと感じました。

地図では、東京書籍と帝国書院共に、カラーバリアフリーへの配慮がなされており、見易さを感じました。東京書籍の資料図と関連した大きめの写真は、効果的だなと感じました。帝国書院は、中学生が利用する地図帳であることを意識した縮尺の統一への配慮、やってみようで言語活動の充実を図ろうとしていることがよいと感じました。

知多地方の社会科は、私の現役の時もそうでしたが、課題解決の学習をベースに取り組

んでいます。その観点からも考えると、日本文教出版がよいのではと思います。また、3分野を関連させるために同一の出版社の教科書がよいのではと思います。

地図帳は、資料活用能力をさらに高める観点も含めると帝国書院がよいのではと思います。

岩見田委員長

数学の教科書についてですが、東書、大日本、学図、教出、啓林館、数研、日文の7社が選定されていますが、いずれ劣らぬ内容の表記、表現、優れた造本でありました。

私は、何を隠そう、算数と数学は苦手でした。そこで、数学の苦手な生徒が取り付きやすいための工夫という観点で比較し、啓林館と日文の教科書を選定しました。

たとえば、啓林館の1年生の関数の導入、単元では変化と対応ですが、同面積の正方形の一枚の紙から様々な箱をつくる活動から、箱の底面となる正方形の一辺の長さや箱の高さとの関係を考えています。また、日文では、関数の導入、単元では比例と反比例では、日常生活の中で伴って変わる量を探ることから入っています。

両社とも、なるほどと思いましたが、自分の手を動かして作業をして、簡単な実験を通して導入している啓林館の方がよく工夫されていると思いました。

また、自分の分からないところが分からないというのが数学の苦手な生徒の実態だと思います。そこで内容の構成に目を向けました。日文では、1単位時間の学習内容を見開き2ページにまとめて、これだけやればいいんだという、安心感をもたせています。一方の啓林館では、既習事項の確認、説明、例題、問題と段階的に学びを進めます。つまずきのある、つまずきやすい生徒としては、啓林館の設定の方が、自分のつまずきを見つける上で有効であると思いました。

しかし、何はともあれ、学習内容に興味や関心をもてないことは最大の難点になると思います。その点で、双方とも、コラム欄の充実、実生活や社会との関連に着眼させるなど工夫が凝らされています。この点でも啓林館のものは、知らず知らずのうちに、学習の流れに乗せてしまうというような丁寧な構成があるように思われました。

これらのことから、啓林館の教科書がよいと思います。

次に、理科ですが、東書、大日本、学図、教出、啓林館の5社が選定されています。

私は、自らの経験から、理科の課題解決学習の始まりは、明確な学習の目的意識をもち、解決の見通しがもてることが最も大切であると考えています。その観点で見ますと、より優れていると思われたものが、啓林館の未来へ広がるサイエンスと教出の自然の探究中学校理科の二点でした。双方とも、より身近な事物や現象と関連させた観察や実験を重視しています。

教出の1年生で見ますと、身のまわりの生物を観察しようでは、まるで小学校の生活科のようなたくさんの情報があり、身近な生物の名前を確認できます。生き物に限らず、何かの名前を知ることは、それを見つかったり、観察したり、使ったりするときの第一歩だと思います。今、理科離れと言われていますが、一人一人の生徒が、自然の事物、現象への興味関心を高めるきっかけとなる情報がたくさん網羅されているという点で、教出の方が啓林館より優れていると思いました。

また、教出の単元末や巻末には、学習したことの要点、重要用語の整理、基礎基本定着の問題、応用問題、学年末総合問題、自由研究のしかた、理科で使う算数、数学などが網羅されています。これは、個々の生徒の学習を下支えできるということにつながってくると思います。何らかの学習につまずきがある生徒にとっては、下支えが大事になりますので、よい構成になっていると思います。一方、啓林館のサイエンスでは、別冊のマイノートがあり、問題を解きながら、あるいは実験の記録を基に基礎基本の習得を図っています

が、教出のような丁寧な心遣いは見受けられませんでした。

以上のような理由で、原案と同じになりますが、理科については、教育出版の教科書がよいと思います。

次に、音楽の教科書について、お願いします。

平松委員

音楽は、一般と器楽ともに2社で、教育出版及び教育芸術社の教科書について確認しました。

どちらの教科書にもあてはまることですが、扱う音楽の範囲が、クラシック、古典なものから現代のものまで、新旧の幅広さはもちろん、アジア、世界とグローバルな音楽がふんだんに紹介されており、異文化理解の一助にもなるものと思いました。

教育出版の教科書では、自分でつくる！やってみよう！伝えてみよう！といった、考えながら、しかも創造的な音楽の本来の取り組みについての工夫がみられました。

教育芸術社の教科書では、音楽学習マップとして体系的に示されて、学習への取り組みやすさに工夫があったと思います。どろらも、甲乙つけがたいものでありましたが、各楽曲における画像の取扱い、すなわち、情景の見せ方が秀逸で、情操へ訴えるという、道徳的心情への取り組みが素晴らしいと考えておりました、教育出版への地区協議会の選定は、是非尊重すべきと考えます。

岩見田委員長

美術の教科書について、お願いします。

竹内委員

美術という科目は、だんだんと主要科目ではなくなってきていますので、生徒のニーズとしては、あまり強くないと思います。美を通じて豊かな感性を身に付けて、これからの生活に役立つ、一つの糧としたいということが多くて、もう一つは、美的感覚を磨いて、これから自分のキャリアに役立てたいという生徒が、1割とか2割とか、いると思います。そのように思うので、生徒たちには、ニーズを喚起するような授業を、美術も大事だよということを伝えて、みんなが関心を持ってくれる勉強であると思います。

私は、開隆堂と日本文教出版の教科書を見て、両社とも、ニーズ喚起を意識した内容になっていると思います。そして、美術品と生徒の作品をバランスよく紹介して編集してあります。それから、美術品については、鑑賞の視点を紹介してあり、関心を高めるとともに、発見の喜びを与えてくれるものになっています。それと、絵や彫刻などとデザインや工芸などに大分類整理され、とくにデザインや工芸などに多くの作例が割かれていることが分かりました。美は身近なものですよ、ということが紹介されていて、とてもよいと思います。

日文の1年生の表紙は、見てすぐに名古屋市美術館であると分かりました。名古屋市美を紹介してくれていて、中部の子たちには、身近で、取っ付き易さあると感じました。

両社とも、ねらいなどがいろいろ書いてありました。

両社で異なっていたことは、自画像が開隆堂にはありました。自画像は、保育園から描きます。小学校でも、中学校でも、高校でも描きます。そういう意味で、自画像があることは、自分の成長だとかを見つめるものとしてよいものだと思いますが、日文にも身近な人という言い方で、自分を含めてあります。そういう意味では、自画像も含まれていることもあり、自分だけよりも取り組みやすいと感じました。

美術は、よく似たものを取り扱っています。ただ、問うていることが若干違うことがあります。これは、最後の晚餐ですが、日文は、手の動きに注目して、これで表情を言っています。開隆堂は、よくあることですが、ヨダを捜させています。開隆堂では、手の表情

のこと教えることができないので、気が付かない生徒がいます。ただ、手の表情にすると、この物語が分からない。美術は、特に、他の部門も同じですが、この彫刻では、開隆堂を見て、日文を見たら、ヒントが多いので、幅が広がります。ヒントがいっぱいあると、学びやすいと思いました。

なお、先生には、採択されなかった教科書にも目を通してもらい、必要に応じて、授業に取り入れてもらえたらと思います。

岩見田委員長

保健体育の教科書について、お願いします。

平松委員

保健体育は、4社の教科書がありますが、その中から、東京書籍及び大日本図書の教科書に絞りました。

どちらの教科書にもあてはまることですが、手にとって驚いたことは、グラビア雑誌かと思うほどの、美しい、視覚に訴える教科書であることです。もうひとつは、つくりが大変堅ろうであることです。教科書を使う場所の特性を考えたものと思われませんが、東京書籍にいたっては、透明のカバーまでついていました。

さらにどちらも、やってみよう！考えよう！と自ら学ぶ、主体的な学習を促す内容となっていました。

東京書籍の教科書では、1年の保健、1年の体育、2年の保健、2年の体育、3年の保健、3年の体育といった学年順で編集されていたのに対して、大日本図書の教科書は、体育で1 2 3年、保健で1 2 3年という並びで編集されていました。個人的には、後者の教科書の方が、使いやすいかなという感想を持ちました。

内容としては、保健では、心と体の発達についてはもちろんですが、環境問題や犯罪被害など今日的な課題も取り上げられており、また、体育では、武道は理解していましたが、創作ダンスやリズムダンスが体育分野で取り上げられていたことは、フォークダンス程度のイメージしかない我々世代には、隔世の感を禁じえませんでした。ただ、東京書籍では、ダンスの取扱いはなかったように思います。

総合的に考えて、大日本図書への地区協議会の選定は、是非尊重すべきと考えます。

岩見田委員長

家庭の教科書について、お願いします。

竹内委員

家庭科も美術と同様、ニーズ喚起が必要な教科だと思います。

その視点に立って、両社の教科書は、できるだけ関心を持たせるということに注力していると思います。その中でも、東京書籍は、索引からページを探すことができますので、カリキュラムを順番でなく、飛ばしてもいいし、どこからでも選択することができます。そのような授業ができるということはとてもよいことです。また、使用されているフォントにリズム感があるなど、見やすいです。このようなことは、取っ付き易さの点では、大事な要素であると思いますので、非常に細かいところまで気が付いていて、是非、推薦したいと思います。

また、編集において、どのような点に着目するかというと、同じことを取り扱っているところに着目する方が分かりやすいです。ミシンのページですが、開隆堂はここまで終わっていますが、東京書籍はいろいろと説明があり、経験からして、これくらいないと実際には使えません。

岩見田委員長

英語の教科書について、お願いします。

深谷委員

英語は、東京書籍、開隆堂、学校図書、三省堂、教育出版、光村図書の6社がありますが、その中でも、愛知の教育、知多の思いが含まれているかどうかという観点で見ました。

6社のなかで、東京書籍と開隆堂という教科書が、なかなかいいものがありました。両社の教科書とも、英語を学ぶということに限定されずに、英語を通して、多くの知識を得られる内容であり、時事に関しては、ノーベル平和賞を受賞したマララさんのことが取り上げられていました。歴史的なことが取り上げられていて、とても興味深い教科書であると感じました。

開隆堂の教科書では、発音クリニックというものがあります。最近では、辞書を開くことが少なくなってきたので、自分たちで、発音記号が分かっているのか分かっていないのかという子どもたちがいる中で、こういうことを取り上げていることはよいことだと思いました。電子辞書で調べると、音声が出るため、発音記号を知らない子が多くいますので、この点は、優れていると思いました。なお、東京書籍でも、リズムやイントネーションをとりあげていますので、よいと思います。

他に関心を引くということでは、リズム感などを覚えさせるために、英語の歌とかを随所に取り上げて、興味を引いているという点で優れていると思いました。

統計的に各学年を通じて行っていくことに関しては、東京書籍が、デイリーシーンという形で、同じ登場人物を3年間通して、日常生活をそれぞれの年齢に即した話題でもって取り上げているので、子どもたちが、同じような気持ちで入っていくことができるという作り方がしてあることがとくによかったと感じました。

また、東京書籍は、ただ単なる例文の繰り返しや反復練習にならずに、例文を使って自分たちの生活から自分で考え、問題を解くようになっています。この点は、知多の主體的に取り組む、問題解決していくというものに合致していると感じました。

両社ともとてもよいものですが、東京書籍は、目次が、こういうふう勉強していくんだよ、ということが書かれていて、先生も生徒もここで何を学び、次で何を学ぶということがはっきりと示されていて、とても勉強し易いというか、入り易いと感じられるのではないかと思います。

岩見田委員長

教科全体を通して、何かありますか。

平松委員

知多5市5町では、独自に知多地方教育計画案を作成し、小中学校は、この計画案に基づいて授業を行っています。

今回の案は、採択地区協議会が、知多全域から各教科の専門員に、調査、研究させ、知多地方の子どもたちの実態に合ったものになっています。

私たちも、教科書展示会に出向いたり、研修会に参加したり、実際に、複数の教科書を見比べたりしました。それらを踏まえて、各委員が意見を述べましたが、案にある教科書は、いずれも知多地方の教員が目目の子どもたちを指導していくのにふさわしいものであると思いますので、案にある教科書を採択したいと思います。

(採決) 全員賛成、原案承認

岩見田委員長

今回の会議録の署名委員に、平松委員、石井委員を指名します。

3 自由討議

(1) 教育予算要望懇談会における要望について

深谷委員

教育予算要望懇談会にて、校長会からの要望を聞きました。毎年、要望を聞いて意見を言っていますが、今年は、例年とは異なり、何が必要であるかということが明確になっていて、教育委員会として、要望を聞いただけでなく、特に実現できたらと思う要望をこの場で話し合うことが必要であると思いました。

生活指導員については、必要があれば施設関係予算を調整しながら、増員できたら学校現場が助かると思います。

松井教育部長

2013行革は平成27年度で終了しますが、財政が厳しい中、次年度以降の行革案の提出と平成28年度からの3年間で年3%、5年間では年4%の削減が示されています。

人口の減少を防ぐ一番のことは、子育て世代の人たちをいかに呼び込むかであり、そのキープポイントとして、教育が重要です。教育部としては、学校教育に関する予算は、維持したいと考えています。

校長会からの予算要望の項目の中で、事業計画や行革へ提出した結果を報告するとともに、それを踏まえて、10月に開催する総合教育会議において、学校が必要とすることを実現するために、市長と協議していただけたらと思っています。

(2) 学生ボランティアについて

小宮教育長

東京オリンピックに向けた県強化指定選手に、体操の文堂さんと水泳の坂田さんが選ばれました。また、今年の夏休みは、学生ボランティアとして、5人か6人の方から応募がありました。知多の子どもたちのために、自分たちも教師になりたいということと合わせて、ボランティアをしたいと考えてくれました。これからも、学生を含めたボランティアが育ってくれればと思います。

子どもが活躍している中から、私たちの知多市はいいところだ、ということを感じてもらえるようなことを今後も行っていきたいと思っています。

(3) アクティブ・ラーニング及び道徳について

小宮教育長

アクティブ・ラーニング及び平成30年度から教科になる道徳については、8月か9月かの定例会の自由討議において、勉強会を含めて、説明していきたいと考えています。

8 閉 会 午前10時32分 第8回臨時会を閉会

次回は、定例会で、8月7日（金）午前9時30分からを予定
知多市教育委員会会議規則第16条の規定により、ここに署名押印する。

平成27年7月17日

(委 員) _____

(委 員) _____

(教 育 長) _____

(教育部長) _____